

密林が泣く

森野 水琴

彼は森の中を走り抜け、立入禁止になっている密林の手前で車を止めた。車から降り、密林との一年ぶりの再会に彼は微笑む。

そよ風が歓迎するように密林のささやきを奏でる。

密林の一带は保護区域になっている。

彼は一带を保護する職員として派遣されてきたのである。

定期的に一带を点検するのが仕事なので、密林と再会したいという彼の夢が叶った。

密林の手前の三叉路を右折し、反時計回りに車を走らせる。

しばらくして密林の入り口を開錠し、手つかずの密林を彼は点検し始めた。

この自然を守りたい一心で彼は点検に励む。

持参した昼食を済ませて、午後の陽ざしに汗を流す。

午後四時に点検を終え、彼は三叉路で密林に挨拶する。

見送るように感謝の雨 密林が泣く